



たくさんの思い出ができた修学旅行

10月25日(金)26日(土)の2日間、6年生が修学旅行に出かけました。1日目は雨に降りましたが、予定通り進めることができました。しっかり協力して、見学地、バスの中、旅館で、仲間とのきずなを深め、楽しい思い出をつくることができました。



金閣寺をバックに思い出の1枚

修学旅行

松組 鈴木 香文

修学旅行は感動の連続でした。一本もくぎを使用せずに組み上げた清水の舞台、まぶしい位に輝いて美しかった金閣寺、予想以上の大きさに圧倒された東大寺の大仏、現代でも建築方法が通用する法隆寺の五重の塔。どれも巨大で機械などなかった時代に人の力だけで造り上げたと聞いてビックリです。今まで本の中でしか知らなかった日本の歴史に直接ふれることができてとても貴重な体験になりました。

歴史ある建造物に感動した修学旅行

竹組 平井 絢菜

私が修学旅行に行って感動したことは、清水寺の舞台から見た景色です。完成したのは今から約1200年前だと聞いて、とても驚きました。高さは約12mなのに、釘が一本も使われていないと知り、昔の人の技術のすごさを感じました。東大寺では、奈良の大仏の大きさに多くの外国人も圧倒されていて、あらためて日本にほこりを持ちました。この修学旅行では、一人一人が時間を守って行動することができ、協力して物事に取り組む大切さを学びました。



東大寺大仏殿をバックに1枚

阿修羅の顔の話

梅組 鈴木 一成

一番心に残ったのは、2日目に行った興福寺の阿修羅像の話です。3つの顔には、それぞれ意味があり、左の顔は幼年期の阿修羅で唇をかみしめた自らの過ちを認められない反抗的な表情で、右の顔は少年期の阿修羅で、過ちに気付いて悩む思春期の表情です。正面の顔は青年期の阿修羅で、希望を見だし悩みから抜け出していると説明がありました。仏像に関心を持ちました。また、修学旅行で学んだことは、団結力です。この団結力を生かし、次の大きな行事、音楽会を成功させたいです。

4年生大会



サッカー部一部トーナメント決勝戦の様子



バスケットボール部5位決定戦の様子

10月19日(土)、20日(日)に4年生サッカー大会、13日(日)、19日(土)に4年生バスケットボール大会が行われました。サッカー部、一部トーナメントは、1回戦住吉小に2対0で勝ち、2回戦小垣江小に4対0で勝ち、準決勝朝日小に1対0で勝ち、見事、決勝戦にコマを進めました。決勝戦は東刈谷小と対戦し、粘り強く戦い延長の末0対0、PK戦で惜敗し、準優勝でした。2部トーナメントは、衣浦小に1対0で勝ち、2回戦小垣江小に0対3で敗戦でした。全員で全力プレイし、一生懸命声を出して応援する姿はすばらしかったです。バスケットボール部は、1回戦東刈谷小に23対16で勝ち、2回戦富士松南小に28対56で負けてしまいました。順位決定戦では、住吉小に20対9で勝ち、衣浦小に接戦の末29対28で勝ち、結果は5位でした。チーム全員で声を出し合って粘り強く取り組む姿は感動的でした。サッカー部もバスケットボール部も、今後の活躍が期待できるすばらしい大会になりました。



5年生の車いす体験

福祉実践教室

10月29日(火)、5・6年生が福祉実践教室に参加しました。5年生は体育館で車いす体験を行いました。講師の方から基本的な使用方法を教えていただいた後、マットを障害物に見立て、車いすを操作して乗り越える体験を行いました。その後、学級を2チームに分け、パラリンピックでおなじみになった「ボッチャ」を楽しみました。6年生は、各教室で手話体験を行いました。音声を発せずに言葉を伝える方法を考えたり、講師の方から耳の不自由な方とコミュニケーションを取る時に気をつけること、ものの名前やあいさつなどの手話を教えていただいたりしました。子どもたちの感想からは、ここで学んだことを、実際の生活に生かしていこうという意欲を感じました。



プログラミング学習に取り組む3年生

プログラミング学習

愛知教育大学の先生方、学生のみなさんに来ていただき、各学年でプログラミング学習を行っています。プログラミング学習は、来年度から全面実施となる新学習指導要領で必修化となります。1年生はタブレットでスクラッチジュニアという子ども向けプログラム言語を使って学習しました。2年生はパソコンでビズケットというプログラミング言語を使って学習しました。3年生はロボットを動かすプログラムを使って、ロボットと劇を楽しみました。4年生はスクラッチというプログラム言語を使って学習しました。5・6年生も2学期中にプログラミング学習を行う予定です。市内の多くの先生方も参観する中、子どもたちは真剣に取り組んでいます。